



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	2012年度日本語イブニング・コース中間報告
Author(s)	山下, 好孝
Citation	北海道大学留学生センター紀要, 16, 109-117
Issue Date	2012-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/52700
Type	other
File Information	JISC16_005.pdf



2012年度日本語イブニング・コース中間報告

山下 好孝

要 旨

本稿は、2012年度春学期（2012年4月～8月）および秋学期期間（2012年10月～2013年2月）に北海道大学・国際本部・留学生センターにおいて実施されている「日本語イブニング・コース」の活動内容と実績についての中間報告である（秋学期は2012年10月・11月分のみ）。「日本語イブニング・コース」は、2010年度秋学期期間（2010年10月～2011年2月）に初めて試みられたもので、北海道大学の留学生・外国人研究員およびその家族を対象とし、留学・研究生活がスムーズに遂行されるよう、夜間に日本語のクラスを提供し、日本語学習を支援することを目的としている。今年度も、昨年度・一昨年度の趣旨に基づき、同一のコースデザインで実施されている。今年度は、従来秋学期にのみ実施されていたのを初めて通年開講とした。春学期（4月～8月）には受講者の延べ参加人数は574名に上り、3年目を迎えて確実に定着しつつあると言えよう。インストラクター（講師）の延べ人数は695名（春学期453名、秋学期242名）であった。インストラクターが企画して行うグループ・レッスンの延べ実施時間数は342.5時間（春学期197.5時間、秋学期145時間）であったが、これは謝金（1時間あたり1000円）が支払われた授業が実施された時間で、実際にはボランティアベースでの授業も数多く行われた。

〔キーワード〕 プレ・クラス、インタビュー・タイム、グループ・レッスン、日本語学習支援、国際交流

1. 日本語イブニング・コース実施の意義

北海道大学は、国際交流を従来以上に推進することを目的とし、平成23年4月1日に国際本部を設置した。国際本部には国際連携課、国際支援課、および留学生センターが置かれ、留学生センターでは留学生のための日本語クラスが数多く提供されている。北海道大学で学ぶ留学生の数は2012年11月には1493人を数え、数年以内にこの数を1800人にまで拡充することが

期待されている。北大の国際教育プログラムは、今後質、量ともに拡大が予定されており、今年度には夏の超短期プログラム（「体験型日本語プログラム」）が実施された。来年度には新渡戸カレッジが開講され、将来海外に留学する日本人学生を養成することになっている。

数年後、新渡戸カレッジで学ぶ学生が海外の大学に行った際、現地の大学で日本語教育のアシスタントや会話の相手になることが求められるであろう。日本語イブニング・コースは北大の学生や札幌のボランティアの人たちが日本語を教えるコースとして始められたが、新渡戸カレッジで学ぶ学生にも、日本語教育トレーニングの場所として活用出来ることはもちろんである。

本年度のイブニング・コースの特徴として、日本語が上達した外国人留学生やかつてのイブニング・コース受講生が、初級の外国人留学生たちに教えるクラスが増えたことが挙げられる。また、日本語教育のために中国語を習得したいというインストラクターのために、中国人留学生が中国語のクラスを日本語イブニング・コースで始めたことも報告しておかなければならない。将来は、英語、中国語、スペイン語など国際的に広く通用する外国語を留学生と日本人がともに学べるようなコースに発展させていきたいとも考えている。

留学生、研究者だけでなく、その家族も参加できることが日本語イブニング・コースのもう一つの特徴である。本年度も、留学生の子どもたちが何人か日本語イブニング・コースに参加している。これらの子どもたちへの対応はまだまだ完全なものではない。しかし、外国人との共生時代を迎える日本では、こういった学習者への対応をこれから考えていかなければならない。日本語イブニング・コースがそのパイロットケースとなることを目指していきたいと思う。一方で、日本語イブニング・コースは、日本語学習の場としてのみならず、生活支援の場としての役割も果たすことが求められる。このような場を継続的に提供することは、国際交流の推進や留学生の増加にも結びつくと考えられる。

筆者は一昨年度の中間報告において、イブニング・コース継続の必須事項として予算および場所の確保と時間外における事務サイドの支援を挙げた（山下他2010：22）。2012年には、今までの実績が評価され、日本語イブニング・コースの事務用に部屋が一つ提供され、ある程度の予算措置もなされた。昨年度以上の支援を受けることができ、今年度も開催が実現し

た。以下、本年11月までの詳細を報告する。

なお、一昨年度、昨年度の報告については下記URLを参照されたい(「山下好孝」「日本語イブニングコース」で検索のこと)。

【2010年度中間報告】

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/46740/1/JISC14_002.pdf

【2011年度中間報告】

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/49300/1/JISC15_004.pdf

2. コースの概要

今年度のイブニング・コース実施に先立ち、4月13日および10月5日、10月12日に、インストラクター（学習サポーター）を対象とする説明会が開かれた。4月には40名、10月には2日間で延べ41名が参加した。

コースは従来と同様に毎週火曜日・金曜日に開催している。また受講生やインストラクターの都合に合わせて、他の曜日にもいくつかの授業が開講された。通常は参加者全員が集うプレ・クラスが18時15分から始まり、18時45分前後から各インストラクターが「グループ・レッスン」を行っている。

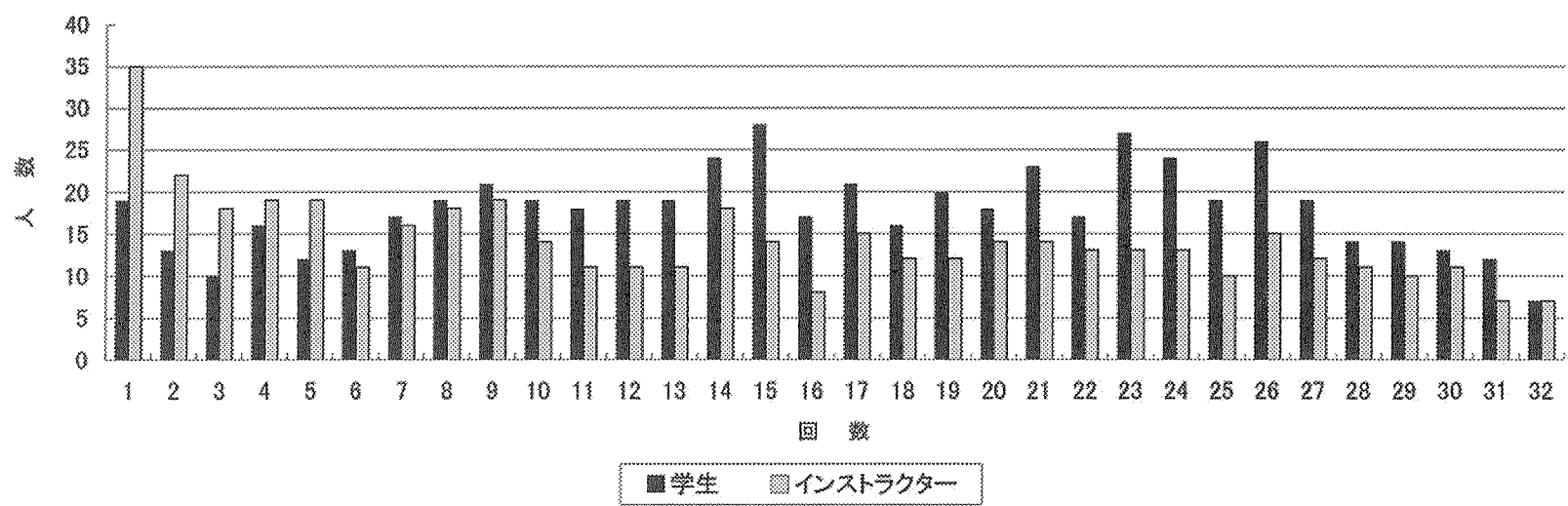
春学期の受講者数、インストラクター数は以下の表の通りである。

表1. 2012年度春学期参加者数

	開催日	学生	インストラクター	計
1	4月13日	19	35	54
2	4月17日	13	22	35
3	4月20日	10	18	28
4	4月24日	16	19	35
5	4月27日	12	19	31
6	5月1日	13	11	24
7	5月8日	17	16	33
8	5月11日	19	18	37
9	5月15日	21	19	40
10	5月18日	19	14	33
11	5月22日	18	11	29
12	5月25日	19	11	30
13	5月29日	19	11	30
14	6月1日	24	18	42
15	6月5日	28	14	42
16	6月12日	17	8	25
17	6月19日	21	15	36
18	6月22日	16	12	28
19	6月26日	20	12	32
20	6月29日	18	14	32
21	7月3日	23	14	37
22	7月6日	17	13	30
23	7月10日	27	13	40
24	7月13日	24	13	37
25	7月17日	19	10	29
26	7月20日	26	15	41
27	7月24日	19	12	31
28	7月27日	14	11	25
29	7月31日	14	10	24
30	8月3日	13	11	24
31	8月7日	12	7	19
32	8月10日	7	7	14
小計		574	453	1027

参加人数の推移は、図1の通りである。

図 1 . 2012年度春学期におけるイブニング・コース参加人数の推移



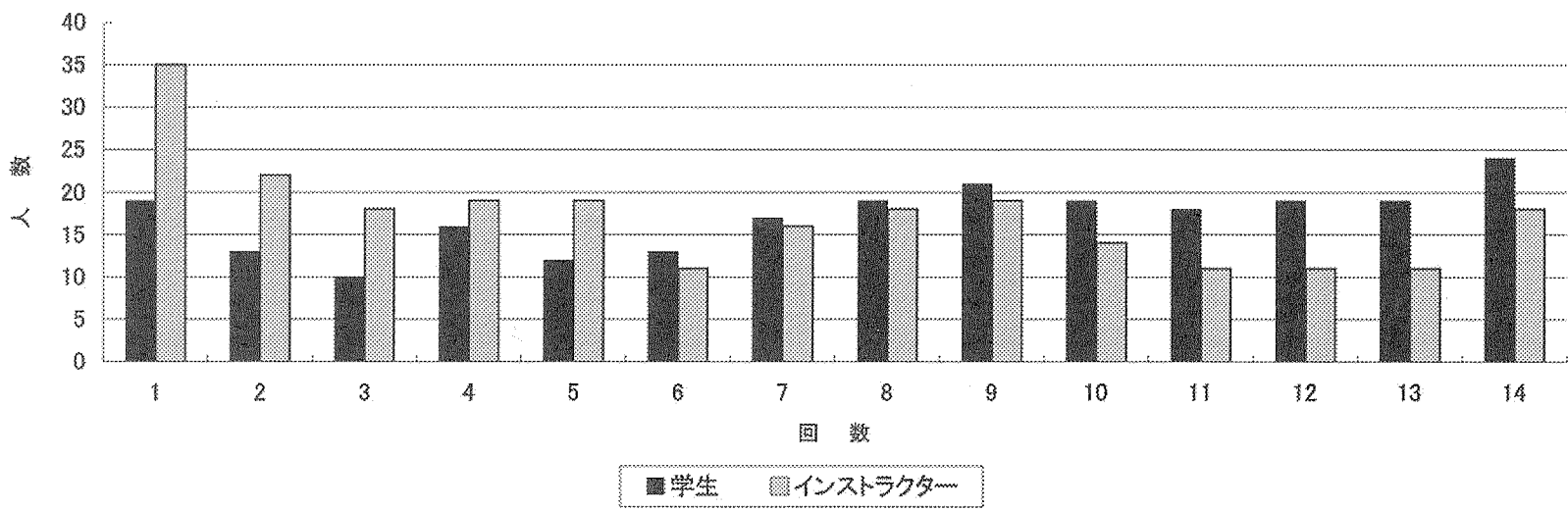
次に、秋学期（後期）の10月、11月までの参加者数を以下に示す。

表 2 . 2012年度秋学期（10月～11月）参加者数

	開催日	学生	インストラクター	計
1	10月12日	19	35	54
2	10月16日	13	22	35
3	10月19日	10	18	28
4	10月23日	16	19	35
5	10月26日	12	19	31
6	10月30日	13	11	24
7	11月2日	17	16	33
8	11月6日	19	18	37
9	11月9日	21	19	40
10	11月13日	19	14	33
11	11月16日	18	11	29
12	11月20日	19	11	30
13	11月27日	19	11	30
14	11月30日	24	18	42
小 計		239	242	481

以下、図で秋学期（後期）における参加者の推移を示す。

図 2 . 2012年度秋学期（10月～11月）におけるイブニング・コース参加人数の推移



昨年度の同時期と比べるとインストラクターの数が減っていることが気がかりである。毎年度の開講当初はいつも多数の北大生の興味を引くのだが、実際に教える段階になると尻込みをしてしまって、イブニングコースから離れる人が多い。

このような人たちを念頭に置いて2012年11月から毎週土曜日にインストラクターのための日本語教育講座を開くことにした。最近改訂された日本語教科書「みんなの日本語 初級Ⅰ」を用いて模擬授業を行い、その中で日本語教育の技術を向上させようというものである。こちらのほうには毎回7～8名が参加している。

さらに将来、日本語教育のプロを目指す人のために、「日本語教育能力検定試験」対策勉強会というものも2012年4月初頭から週1回ペースで開いてきた。これは従来、北海道大学国際婦人交流会の方を対象に筆者（山下）が行っていたものだが、今年からは日本語イブニングコース参加者にも門戸を開放して行うことにした。毎年数名の合格者を生み出しており、来年度も継続する予定である。

3. コースの活動状況

今年度のイブニング・コースも、昨年度の運営方針にはほぼ沿った形で実施されている。イブニング・コースの基本活動は、「プレ・クラス」コース初頭の「インタビュー・タイム」、クラス成立後の「グループ・レッスン」で構成されている。例年通り国際本部の2階大講義室をプレ・クラスの会場としているが、他の行事と教室使用が重なった場合は1階の入り口ロビーにプロジェクターを設置し、プレ・クラスを行うことが数回あった。グループ・レッスンには留学生センター2階および3階の各教室が提供されている。内容は昨年同様、ひらがなクラス、初級文法クラス、漢字クラス、歌のクラス、子どもたちのクラスなどである。

4. 今後の展望

日本語イブニング・コースは単に日本語の習得を目的とするだけでなく、会場の設営の時間や、クラスが始まるまでの時間に参加者がお互いに交流する場を築こうと考えている。しかし、インストラクターの中には、このような時間に加わらず、クラスのほうに直接行って日本語の授業だけを行うような態度の人もいた。

日本語イブニング・コースの趣旨を参加者に十分理解してもらった上で
今後は活動を続けていきたいと考えている。

資料1 「日本語イブニング・コース」チラシ2012年12月用

Japanese
Evening Course

Let's enjoy Japanese Now!

十二月

Time: TUE & FRI
12/4 12/7 12/11 11/14 12/18 12/21
60min / 18:15~ (upon request)
Place: International Student Center (Kita 15 Nishi 8)
For: International Students of Hokkaido University
and their families (children are welcome)

What will you learn?

😊 We are planning to offer various classes depending on the learners' requests. 😊

Contact: yama@oia.hokudai.ac.jp

日语讲座

让我们一起快乐地学习日语!

十二月

时间: 星期二和星期五
12/4 12/7 12/11 12/14 12/18 12/21
60 分钟 / 18:15~ (根据大家的时间具体安排)
地点: 留学生中心 (北 15, 西 8)
对象: 北海道大学的留学生及家人
(同时欢迎小朋友们的参加)

具体都学些什么呢?

😊 根据大家的需求安排课程 😊

联系方式: 山下好孝 yama@oia.hokudai.ac.jp

- 114 -

資料2 「日本語イブニング・コース」インストラクター一覧
 前期（春学期）および前，後期参加者

所属・職名 氏 名	大学院国際広報メディア・観光学院・博士後期課程 林 恒立
所属・職名 氏 名	大学院理学院・修士課程 上林 彰仁
所属・職名 氏 名	学外 谷口 博子
所属・職名 氏 名	学外 吉田 由利
所属・職名 氏 名	大学院国際広報メディア・観光学院・修士課程 細野 弥恵
所属・職名 氏 名	留学生センター、研究生 杉浦 和子
所属・職名 氏 名	医学部医学科 印南 裕貴
所属・職名 氏 名	工学部環境社会工学科 掛川 恵梨子
所属・職名 氏 名	学外 塚田 麻弥
所属・職名 氏 名	工学部 原田 大地
所属・職名 氏 名	経済学部 早苗 修平
所属・職名 氏 名	大学院環境科学院・修士課程 青木 久美子
所属・職名 氏 名	大学院国際広報メディア・観光学院・博士後期課程 邱 林燕
所属・職名 氏 名	北大職員 森山 英理子
所属・職名 氏 名	北大職員 新井 環
所属・職名 氏 名	北大職員 辻 友貴

所属・氏名	学外
氏 名	山田 暁彦

後期（秋学期）からの参加者

所属・職名	学外
氏 名	中村 真衣佳
所属・職名	学外
氏 名	顧 越
所属・職名	法学研究科、研究生
氏 名	蘇 聿醒
所属・職名	留学生センター、日本語日本文化研修生
氏 名	王 耕偉
所属・職名	理学部化学科
氏 名	田川 雄貴
所属・職名	経済学部経営学科
氏 名	Akhmetova Madina
所属・職名	工学部情報エレクトロニクス学科
氏 名	Hadinata Agnes
所属・職名	大学院国際広報メディア・観光学院・修士課程
氏 名	伊藤 あゆみ
所属・職名	学外
氏 名	室田 美保
所属・職名	留学生センター、研究生
氏 名	李 明月
所属・職名	教育学部
氏 名	上村 知恵子

やました よしたか（留学生センター教授）

Mid-term Report of Hokudai Nihongo Evening Course 2012

YAMASHITA, Yoshitaka

Hokkaido University Nihongo Evening Course was designed for all the international students and researchers and their families who want to learn Japanese. This course began in 2010. It is characterized by its flexibility of the schedule and course design. There is no placement test, no fixed textbook, nor homework. Its instructors are not professionals, but volunteers.

The Evening Course consists of “Pre-class,” “Interview Sessions”, and “Individual Class.” All students participate in the “Pre-class” to begin with. Afterwards, they can choose an “Individual Class,” based on their needs or interests. This year we have classes both in spring semester and in fall semester.

We believe this course’s system can serve as a model for other voluntary based Japanese language courses. We try to find the way of efficient support for students who are learning Japanese.